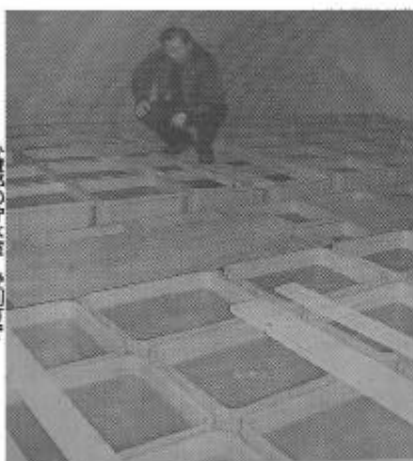


野菜貯蔵庫「アイスシェルター」



▷3◁

道で誕生 中国に普及



心臓部の貯水室＝愛別町で

上川管内愛別町の雪原 管内留奈都村などで栽培さ
に、かまぼこ型の施設が連 れたジャガイモ約100ト
っている。町が管理する野 が、増産期の3〜5月に
業貯蔵庫「アイスシェルタ 荷するため貯蔵されてい
1」(床面積約250平方 た。
だ。内部は1年を通し 菅原純・元北海道大教授
て気温2度、湿度95%に保 が考案し、88年に建設した。
たれている。隣接する郵便 施工した田尻機械工業(札
に約150トの水水が蓄え 幌市中央区)の津川博徳務

アイスシェルター 物 水と氷が共存している
が液体から固体など き、両者の温度は室温にな
る状態が変化するとき っている。氷水があれ
熱が入りやすい。夏は米が ば周辺の空気を室温に保つ
解けるとときに空気の熱を吸 ことができる。野菜貯蔵庫
取して冷やす。冬は水が凍 りて野菜の出す熱で少し気
る過程で熱が発生するため 温が上がる。

がなければ腐敗する。シェル いる。
ター内は気温、湿度がほと 80年代、北大に留学して
んど変化しない。完成から いた李里特・中国農業大副
18年。トラブルはないと 学長が普及に努めた。「李
胸を張った。 さんは愛別町で作業員を
建設費は約3000万円 じっと見守り、技術を学ん

円。だが、年間経費は季節 だった。中国の農村は真し
に応じて外気を取り入れる い。廉価で優れた技術をど
ためファン代の約11万円の ん欲に吸収する姿勢が、道
み。冷凍機を使用する場合 産と通っていた」と津川
に比べ年間経費は20分の1 さんは振り返る。
以下で読む。

◇ 北海道で誕生した野菜 後志管内ニセコ町の由木貯
貯蔵庫だが、普及は中国の 蔵施設など4町でアイスシ
方が早かった。この数年間 エルターが導入された。新
で、道庁省営口市など中 関する特別措置法で国の
国北東部の主要都市に、 財政支援の対象に、雪水利
愛別町の規模を10倍も上回 用が02年から追加されたこ
る巨大なアイスシェルター とが背景にある。また、道
が建設され、7施設が野 野債・北大教授(68)農
業貯蔵庫として稼働して 業気象学は「雪は解けた



雪原で目立つかまぼこ型の施設

ら補給しなければならぬ 2 が反対し、05年度から約
が、水水は1度用事するた 億6000万円を投じて懸
けて済む。比類は雪の2倍 念に乗り出す。計画では08
あるので水の方が効果的と 年冬に苫東で水を作り、翌
いう認識が広がった」と解 年8月から東京に大量輸送
説する。 する。北海道からフェリー
◇ 「北海道の雪水を都会の で東京に向かうコンテナ
冷源用に使えないか」 は、最大で4割が空になっ
2年前、邪魔もの扱いた ている。この無駄を利用す
った雪の有効利用を考える る。
雪サミットが、美瑛市で開 浦野さんは「優れた技術
かれた。消費電力の標準化 点だが、採算性が取れるか
に苦慮する電力会社系研究 どうか美瑛化への鍵」と
所幹部が提案した。 話している。

【田中要義】
11つづく